

報道関係者各位

2020年7月15日

東急不動産株式会社

～東急不動産が提案する新しい『住まい方』～

在宅ワークに対応したインテリアオプションの開発に着手

コクヨとの連携による新しい試み

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：岡田 正志）は、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に在宅ワークが急激に広がっている現状を踏まえ、新しい『住まい方』として、在宅ワークをより快適に行えるようなハード、サービスの開発、提案を進めることにいたしました。その第一弾として、ワークスタイルに豊富な知見を持つコクヨ株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：黒田 英邦）と連携し、当社の分譲マンションシリーズ「BRANZ（ブランズ）」を主な対象として在宅ワークに対応したインテリアオプション（※1）の開発を行うことになりましたのでお知らせいたします。

（※1）インテリアオプションとは、分譲の購入時に合わせてインテリア等を購入できるサービスのこと。

■ 開発の経緯

コロナ禍を契機にワークプレイスの考え方が変わってきています。これまでの「住宅とオフィス」という図式ではなく、オフィス、住宅、リモートオフィス、カフェなど様々な場所が仕事場になる時代が到来しました。働き方が多様化するなか、住宅においても住戸内に仕事をするスペースを求める声が増えています。一方、「仕事とプライベートの切り替えがしにくい」「周りの音が気になり集中して働きにくい」「快適に働くための家具や設備が不十分」など、コロナ禍において環境の整備が整わない中で始まった在宅ワークにおいては様々な不満の声が上がっています。

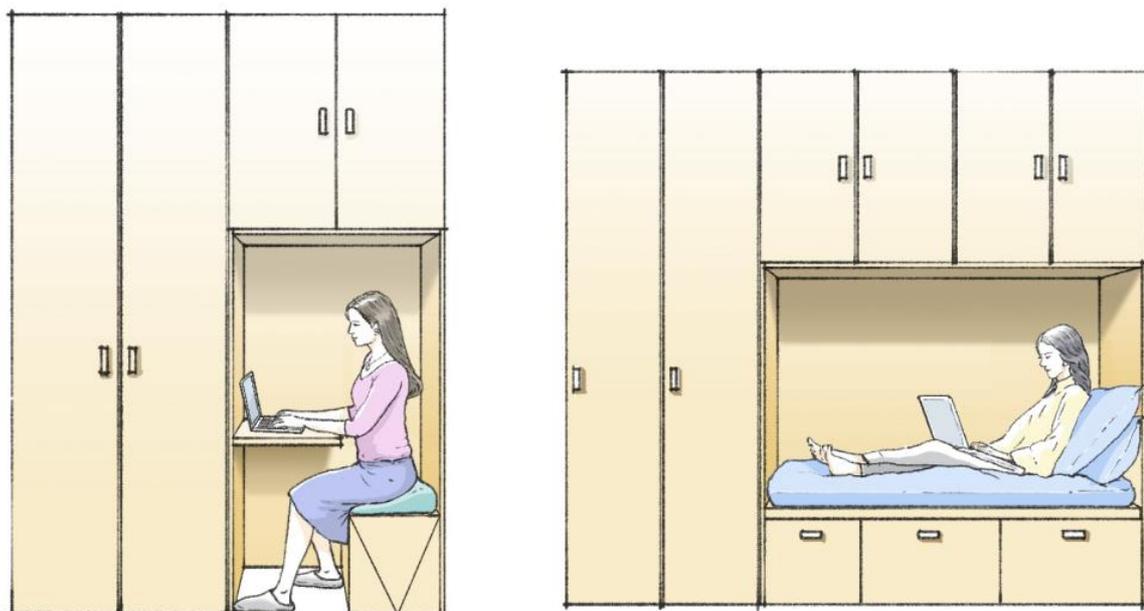
長年住宅やオフィスの開発を進めてきた当社は在宅ワークや時差出勤などの働き方の変化、住宅業界を取り巻く社会課題と向き合うために、コクヨ株式会社がこれまで蓄積した“快適に働く”ためのノウハウをもとに、お客様のニーズに応える新しいインテリアオプションの開発に取り組み、顧客満足度向上を図ってまいります。

この2社で創出したアイデアを、東急不動産ホールディングスグループの総合力を生かし、インテリアの販売やリフォーム事業等を手掛ける東急 Re・デザイン（本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：細田 正典）が居住前に工事・搬入を行うインテリアオプションとして開発することといたします。今後はブランズ物件を中心に当オプションを開発、東急不動産ホールディングスグループとして社会課題に対応して参ります。



■ 開発中の計画案

マンションでの在宅ワークにおける「仕事机を置きたいがスペースがとれない」「家族がいるリビングではオンライン会議に参加しにくい」「気持ちの切替がうまくできない」といった課題を解決すべく、今回のインテリアオプションでは収納や家具の一部にワークスペースを組み込み、住戸内の建具やフローリングとカラーを統一性を持たせ、居住性を損なわずインテリア性の高いワークスペースの空間を創出いたします。インテリアオプションは首都圏の2物件のモデルルームでの設置を予定しており、購入検討の段階で実際にご覧いただくことが可能となります。



計画イメージ

■ 様々な社会課題の解決を進めます

当社は、サステナビリティビジョンとして「社会課題の解決」を掲げており、常に社会課題と向き合い、事業活動を通じて解決に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染拡大により世の中が大きく変化し、withコロナ時代の新しい生活様式が求められる中、当社の幅広い事業領域を活かし、新しい日常の提案を行うなど、引き続き、様々な社会課題の解決にグループ全体で事業で取り組んで参ります。



■ 設置予定物件

物件名：ブルンズシティ世田谷中町
住所：東京都世田谷区中町五丁目21番6他（地番）
交通：東急田園都市線「桜新町」駅から徒歩15分
東急田園都市線「用賀」駅から徒歩15分
敷地面積：20,040.54㎡（6,062.26坪）
構造規模：鉄筋コンクリート造地上4階地下1階
延床面積：23,976.42㎡（7,252.86坪）



ブルンズシティ世田谷中町 外観

物件名：ブルンズ浦和別所沼公園
住所：埼玉県さいたま市南区鹿手袋二丁目826番（地番）
交通：JR埼京線「中浦和」駅から徒歩4分
敷地面積：2,732.59㎡（826.60坪）
構造規模：鉄筋コンクリート造地上6階
延床面積：6,093.84㎡（1,843.38坪）



ブルンズ浦和別所沼公園 外観

